



製薬大手シャイアー(2019年武田薬品工業に買収・統合)、ハイパーコンバージドから Tintri および Cisco UCS に切り替えて、エンタープライズアプリケーションの大幅なコスト削減、導入の迅速化、パフォーマンスの向上を実現

## Baxalta (2016年シャイアーに買収・統合) が Tintri を採用した経緯

Baxalta は、イリノイ州バンノックバーンに本社がある世界的に大手のバイオ医薬品企業です。ヘルスケアの巨人 Baxter International から分社化して 2015 年 7 月に設立されました。分社化が完了するとすぐ、Baxalta は、Baxter の IT インフラストラクチャの継続使用に数百万ドルもの費用を支払うことを避けるため、Baxter のデータセンターを一刻も早く引き払う必要に迫られました。Baxalta では、過剰なコストを回避するために、迅速に導入できる IT ソリューションを見つける必要もありました。

同社はインフラストラクチャの選択肢を見直した後、導入と管理が容易なことから Tintri を選択しました。同社はインフラストラクチャの選択肢を見直した後、導入と管理が容易なことから Tintri を選択しました。データセンターアーキテクトの Mike Baker 氏は「以前のインフラストラクチャは、IBM ストレージ、EMC、NetApp システムなどのストレージソリューションを組み合わせられて構成されていて、これらのストレージシステムを導入し軌道に乗せるまでに 1 か月以上もかかっていた。新規に導入した Tintri と Cisco UCS は完璧でした。VMware を新しいデータセンターで実行するアプリケーションと合わせてフルインストールし、すべてが正しくセットアップされたことを確信するまで 1 週間もかかりませんでした」と述べています。

導入の大幅な高速化に加えて、Baxalta が感銘を受けたのは、Tintri のエンタープライズクラウド機能でした。「Tintri の自律型 QoS は当社にとって大きなセールスポイントでした」と Baker 氏は話します。「Tintri は、会社の規模に合わせてアプリケーションのすべてが予測どおりに動作することを保証してくれます。Tintri Global Center が提供する VM レベルの表示機能にも驚きました。個々のアプリケーションで何が起きているのかをいつでも正確に特定できます」

## Baxalta 買収時のシャイアーの課題

2016 年 1 月にシャイアーは Baxalta を買収しました。シャイアーは世界的な大手バイオテクノロジー企業であり、100 を超す国で希少疾患など非常に特殊な病気の患者を対象にしています。

シャイアーでは、すでに米国内のすべてのデータセンターでハイパーコンバージドを標準化していました。同社では、米国の導入に加えて、ハイパーコンバージドフットプリントの倍増計画を立案済みで、欧州のデータセンターで同じハイパーコンバージドシステムを使用する第 2 の IT 環境を構築しようとしていたのです。

### ハイパーコンバージドと Tintri、どちらを標準にするか

Baxalta は、新たにインフラストラクチャ統合の課題に直面することになりました。大成功した Tintri と Cisco UCS の導入の拡張を継続するのか、その時点でシャイアーの企業標準であったハイパーコンバージドプラットフォームに切り替えるかを決定する必要があったのです。IT チームが協力してテクノロジーロードマップを策定し、シャイアーがハイパーコンバージドインフラストラクチャで経験していたパフォーマンスの問題を中心に議論を行いました。「ハイパーコンバージドを使用して当社のデータベースを管理することは常に困難でした」と Baker 氏は語ります。「データベースサーバを多数の小さなディスクに分割した後、それらのデータベースから、必要とするパフォーマンスを得るために、ディスクを結び付け直さなければなりません。とても非効率的で時間のかかるプロセスでした」

## 課題

- ・ データセンターを一刻も早く引き払い、新しいストレージソリューションに移行しなければならない
- ・ 買収後、まったく異なるデータベースとストレージサイロを統合しなければならない
- ・ 従来のストレージソリューションが混在しており、導入に時間がかかり、大きなコストがかかる

## ソリューション

- ・ Tintri VMstore と Cisco UCS サーバー
- ・ Tintri Global Center
- ・ Cisco UCS Director と Tintri VMstore プラグイン

## 効果

- ・ 個々のアプリケーションレベルで、状況を正確に把握できる
- ・ アプリケーションのすべてが予測どおりに動作することを保証
- ・ Tintri と Cisco UCS を個別に拡張できるため、必要に応じてデータセンターを少しずつ拡張可能になった
- ・ マネージドサービス契約を終了することで、管理コストを大幅に削減

## ソリューション

Baxalta の IT チームは、Baxter の分社化後、Tintri と Cisco UCS をどれだけ迅速に導入できたか、新しい環境でどれだけ一貫したパフォーマンスが得られたかについての実体験をもとに、Baxalta は、計画されていたハイパーコンバージドの購入を進める代わりに、Tintri ストレージシステムと Cisco UCS サーバで標準化するようにシャイアーを説得しました。

その結果、シャイアーは、欧州の拡張プロジェクト用に追加のハイパーコンバージドシステムを購入しようと確保していた予算を使って、米国と欧州の両方のデータセンターに必要な Tintri および Cisco のインフラストラクチャをすべて購入したのです。

## 効果

### IT 管理時間を短縮

「Cisco UCS Director にも投資しました。Tintri が提供している Tintri Connector for UCS Director プラグインを使うとコンピューティング、ネットワーク、ストレージを 1 か所から管理できるようになり、インフラストラクチャ全体ですべてのアプリケーションのパフォーマンスを確認できるようになりました」と Baker 氏は語っています。

これまで、シャイアーではインフラストラクチャを維持するためにマネージドサービスに依存する必要があったのです。また、新しい環境の立ち上げに 1 か月以上かかっていたため、これらのサービスの契約には相当な費用がかかっていました。「Tintri と Cisco UCS により、マネージドサービス契約を終了することができました。たった 1 人の担当者が 4 分の 1 の時間で複数のデータセンターにまたがるフットプリントを管理できるようになりました。管理負担を増やすことなくフットプリントを拡大することが、当社のエンタープライズクラウドの要件です」

### 容易に拡張可能なアーキテクチャを実現

Tintri と Cisco UCS への移行は、ハイパーコンバージドのフットプリントのスケーリングに関するシャイアーの懸念も解決しました。

「当社のハイパーコンバージドインフラストラクチャでは、必要なリソースが 1 つだけで他は必要ない場合であっても、コンピューティングとストレージと一緒に拡張する必要があったため、結果として余分なコストが発生していました。Tintri と Cisco UCS は独立して拡張できるため、すべてを事前に購入する必要がなくなりました」と Baker 氏は語ります。

「必要に応じて段階的に拡大し、Tintri と Cisco UCS の新しいアーキテクチャを中小規模のポッドに導入できます。コンピューティングがさらに必要になったら、UCS ブレードを追加するだけです。ストレージがさらに必要な場合は、Tintri VMstore システムを追加できます。一緒に Tintri と Cisco を使用することにより、当社のオンプレミスインフラストラクチャで、エンタープライズクラウドの柔軟性と俊敏性のすべてが得られるようになりました」

「Tintri と Cisco UCS によるストレージシステムの導入～軌道に乗せるまでには一週間もかからなかった。以前のシステムは一ヶ月以上かかっていた。「Tintri は、会社の規模に合わせてアプリケーションのすべてが予測どおりに動作することを保証してくれる。Tintri Global Center が提供する VM レベルの表示機能にも驚いた。個々のアプリケーションで何が起きているのかをいつでも正確に特定できる。また Tintri と Cisco UCS は独立して拡張できるため、すべてを事前に購入する必要がなくなった」

Baxalta 社  
データセンターアーキテクト  
Mike Baker 氏